

読書でビジネス力をアップする(第66回)

コロナ後、変わりつつある組織で生きる仕事術

2020.11.05



働く時間は短くして、最高の成果を出し続ける方法
越川 慎司 著
日本実業出版社

時間効率改善の方法です。「働き方改革」が求められています。でも、単に働く時間を短くするだけでは不十分です。時短の結果、利益が下がってしまえば単なるジリ貧です。大事なことは、時間を削減しつつ、利益は上げることです。それこそが本当の「働き方改革」です。分かっているても簡単ではありません。本書には、その方法が書いてあります。

著者は、元マイクロソフトの業務執行役員として「リモートワーク」を実践、独立してからは「週休3日週30時間労働」を実践している人です。そんな生産性アップのプロが教えてくれます。

仕事を効率化する方法は、実は確立されています。まずは現状認識です。次いで「やめること」を決めることです。やめるだけですから、簡単ですが、効果は絶大です。

なお、会社のムダの温床は、主に「会議」「資料作成」「メール処理」にあるそうです。これなど、現役で働いている人であれば、納得できると思います。どうしても削減できない仕事は、効率的に行う工夫をします。本書には、その方法も書いてあります。例えば「メールはチャットに換える」「資料はひと目で伝わるものにする」などです。

効率化した時間を何に使うべきか？… 続きを読む